



品質保証システムの国際標準規格 ISO 9001認証(審査登録)取得の取り組み

山口県・特別需要法人キーム アイユウの森

辻中 浩司

きっかけ

会員登録制度の導入により、相談サービスを取り巻く環境は大変革期を迎えることになります。これまでの「相談・委託による手続」から「利用者と顧客として、契約による運営」がされる「顧客」として、「貢献・努力性の確保が求められる」まで、その結果、困られた会員のなかで、「お客様に選択していただきける高いサービスを効率的に提供できるか」といった先駆的な「挑戦」になります。また、社会保険基盤改進のための中間となるので、「貢献・努力性の確保が求められる第三者評議機関」が設立され、その評議を評議するための組織として「日本標準規格協会」が求められています。「これらのことを背景として、以下の理由で「ISO 9001」の認証取得に取り組みました。

①相談の現場における「コンサルタント」を使わずに自分たちでやってみよう。
セシをおよびアカウンタビリティの考え方方に立つたため

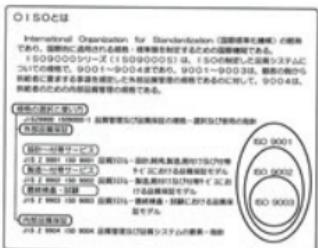
具体的取り組み

平成10年8月に「ISO 9001認証取得推進委員会」を発足させました。「コンサルタントを使わずに自分たちでやってみよう」ということで法人や顧問会社を対象とした活動を開始しました。平成10年9月には会員登録制度を実現した日本国際人材振興協会に決議し、平成11年5月には予算案を承認し、平成11年9月は監査委員を受審し、平成11年10月1日に登録されました。取り組みは品質マニフェスト作成のための情報整理、品質システムの構築は「手順整理から存在する」を大前提として、「現在何がどうのようだれによって行動しているか、どのような文書や記録が存在するか」を検討し、「手順を標準化し、文書が文書化された」とおり業務を行、記録として「残らねばならぬシステムがISO 9001の要件事項と対比させながらISO 9001の要件事項と対比させなが

ら、次のとおりアイスの文書の品質システムを構築しました。
 ①「製品」「分派サービス」「設計」をテーマとする品質マニフェストを作成した。
 ②「プロセスによる品質システムを構築した。
 ③「品質目標」をもつた毎日の「個別サービス計画」を利用者ごとに策定することによって質の高い会員登録サービスが提供できるように作成することで、品質が高いサービスが提供できるとした。



した。
 ①顧客満足をふんだんに貢献する質の高いサービス提供をシステムとして構築するため(これまで何となくあった手順を標準化し、文書化化)、その結果、より柔軟性を行い、結果を記録・検討していくうえで品質の追求をめざす。
 ②法人の信頼度を高めるために、個性的な特徴をもつて品質の向上性を図るため
 ③業務の標準化により正直・誠実の運営の実現を目指す。
 ④組織による科学的管理体制を確立するため
 ⑤会員のモラールアーバンと自信につなげるため
 ⑥内部品質監査と定期顧客満足度によるシステムが提供できるようになるため
 ⑦アドバイザ等のISOの認証取得のナーシングチームを経営する外資系企業参入に対する抗戦するため



⑧住宅介護支援事業による利用者の高い満足感による利用者となるが、開いた込みをしないでも利用者がから選択されるサービス提供

(連絡先)
 〒750-0092 山口県下関市島泊町3-17-2
 TEL: 0832-66-8287
 FAX: 0832-66-7276
 E-mail: iq050935@ms5.msnig.net

④不満足サービスの管理では、施設で独自に作成した「ビザリーハット」の有効化

活用で利用者に満足していただけた貢献の高いサービスをめざすこととした。

プロジェクトにおける効果

平成10年8月からもうような取り組みを行ってきた結果として次のような効果が出てきました。何よりもコンサルタントを使わずに自分たちだけで取り組みを行ってきたことに大きな成果があるように思います。

①責任（気がつかなかったり、気がついで放つておいたりしてはいけないこと）をおよび悔恨（自分の判断で決戻し、実行することができられ、しなければならないこと）が明確化された。

(2)品質マニュアルの作成で、法人の品質システム全体像が明示され理解してきた。
(3)業務の標準化により、あいまいさがなくなってきた。

④開設後4年目を迎えた時期に、これまでやるべきことの整理(業務の見直し)ができきたうえに、品質という観点から

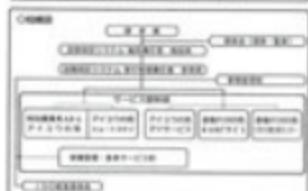
考察と今後の課題

⑤本業やるべき」といひ十分でないながうたことが、「ISOが要求しているから」という理由で実行できてきた。

⑥「利用者および家族等に」のようなシステムで、「このようなサービスを提供させていただきます」というものを目に見える形にできるのである。

⑦トレーニングにすみやかに対応できるよう、トレーニングセミナー(追跡性)の欄点から記録類が整備できてきた。

⑧内部品質監査において他部署の業務が理解できてきたうえに、有用な記録書の有効活用が推進されてきた。



た、心のかおりを提供できる職員の存在>がなければ本末転倒であると思っています。相手ニーズにおけるISOの品質システムを考えた時に、品質システムについて、教育・訓練された能力集団が支える要因がわめて強い影響力をもつことから、「やさしさ・真心・思いやり」を大前提にし、どのような業務にどのような技量・技術が必要かを明確にしながら品質システムに組み込んでいくことが必要であると考えています。今回の認証取得に向けて全職員が一丸となって整備した品質システムの登録は、維持・改善・進化するあらたな出发点に立ったことを認識しています。そして、この品質システムの維持・改善・進化を推進していくことです。「顧客満足」から「顧客感謝」へ邁進していくだけのサービス提供主体をめざせると確信しています。